

第289回 番組審議会

1. 日 時 令和2年 2月18日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F 「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 7名
出席委員数 6名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)

—以下50音順—

朝岡 正貴

石田 征広

佐々木 泰司

菅原 正二

八木橋 伸之

○ 会社側出席者 (7名)

齋藤 秋水 (代表取締役社長)

小原 忍 (取締役副社長)

高嶋 昇 (常務取締役)

工藤 浩 (常務取締役)

一戸 俊行 (取締役報道制作局長)

君澤 温 (取締役総務局長)

○ 事務局 梨木 祐亮

大場 薫

4. 議題 ① 『とくダネ!』

上記番組と日頃感じているフジテレビに対するご要望ご質問等

② フジテレビの編成方針等

つかごし ゆうじ
塚越 裕爾 様 (フジテレビジョン執行役員編成制作局長)

5. 議事概要

今回は、『とくダネ!』について審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●フジテレビジョン執行役員編成制作局長 塚越裕爾様からの説明

・『とくダネ!』は、1999年に始まった。朝8時から家庭の主婦はニュースを見ないと言われたが、色々なワイドショー番組をやってきた中で、そんなはずはないと、家庭の主婦もニュースには関心が高いはずということで始めた番組。現在の『とくダネ!』は小倉・山崎・伊藤に、日替わりでゲストコメンテーターを入れている。昨年4月からは、あまり詳しくない人にもメインキャスターをやっていただくことで、より視聴者に近い目線の番組づくりをしようと改革の途中である。

●出席した委員からの意見

- ・クルーズ船の現場の緊張感が伝わり、スタジオが節度を持って対応してよかった。
- ・これまでの情報番組と一線を画すゲストやコメンテーターで新しい形の番組として完成している。
- ・小倉キャスターの位置づけがしっかりしていてアナウンサーとの役割分担も

わかりやすく個性もいかせているのではないか。

- ・視聴した回は天気を簡潔に伝えることでバランスが良いと感じた。
- ・音楽にも拘りを持っている番組と感じている。
- ・今回の番組とは関係ないが、フジテレビで時代劇をもっとやってほしい。

●委員からの質問、意見に対する会社側（今回はフジテレビ）からの回答

- ・『とくダネ!』は、ゲストやコメンテーターのキャスティングで6割7割決すると思っているので、1人1人ちゃんと理由があって選んでいる。色々な受け取り方をする方に多様な意見を出して行くのが1番大事なことだと思っているので、拘りを持って人選している。
- ・天気コーナーについては、天気がメインテーマとなり長く丁寧に伝える日と、簡潔に短めの日がある。その時々全体のバランスを取ってやっている。
- ・時代劇はコストがかかるが、広い視野の座組で今後も取り組んでいきたい。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※令和2年2月19日（水） 産経新聞 東北版

※令和2年2月29日（土）午前5時27分から5時30分まで「めんこいテレビ番審りレポート」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付、各支社に備置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

9. その他の参考事項

特になし

※次回は、令和2年3月10日(火)12時より3階「星雲東の間」にて開催
予定です。